

介護老人保健施設しおさい 與後智明

- 功 績** クラスター終息後の3月、稼働がこれまで経験したことのない低い数字となり、そこで地域の皆様が安心してしおさいを再度ご利用していただけるよう、近隣居宅介護支援事業所や診療所に声掛けを行い、これまで築き上げた信頼関係から、少しずつ稼働が回復。7月からは99%稼働と医療介護連携室が中心となり、今年度新たな加算であるLIFE導入サポートをすることで入所予算達成に貢献している功績。
- 推 薦 者** 山本成久
- 推 薦 理 由** 與後主任は医療介護連携室として日頃から地域に向けた広報や積極的に近隣居宅介護支援事業所と連携を仕掛け また、ご利用者家族との信頼関係をも築いております。また、事務部門の観点よりコメディカルに対し何がサポート出来、また、施設の運用に繋がるかを考え実行できる職員です。今回、コロナ終息から通常運用まで大きく貢献し現在の入所予算達成に繋げていることを評価し、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

新型コロナウイルス感染症クラスター終息宣言時、3月のしおさいはこれまでにかつてない稼働の低下があり、併せて売り上げも減少していました。終息宣言をした当初、一定の利用者さんは再度しおさいを利用していただきましたが、中には残念なことに、他施設をそのまま利用を継続するとのことで、しおさいの利用を終了する利用者さんもいました。また、新規の問い合わせの話はほとんどなかったことから、挨拶も兼ねた営業を近隣の居宅介護支援事業者や診療所に伺うことにしました。そこで、少数ですがクラスターになった施設に行くとコロナになる。怖いから行きたくないといった声があるとの情報でした。当時日本だけではなく世界中で感染は拡大しており、私たちも新型コロナウイルス感染症の怖さを痛感し、不安になる気持ちは分かりましたが、そこで少しでも不安を払拭できるように、引き続きの感染対策の実施や広報誌などを活用しながら、根気よく営業活動を継続しました。また、しおさいで実施している感染対策をケアマネジャーに説明し、ケアマネジャーからも利用者さん、ご家族へ対策内容を説明いただき、利用を促していただくことで、徐々にですが、新規利用者さんの獲得に繋がっていきました。結果、3月稼働76.7%から4月稼働81.8%5月稼働94.3%、6月稼働98.1%、7月稼働99.2%、8月99.3%、10月99.8%と徐々に稼働は向上し、7月にはクラスター前と変わらない99%以上の高稼働を達成し、以後稼働維持をすることが出来ています。これは、医療介護連携室としての日常が戻ってきたことを意味することであり、スタート地点へ、ようやく戻ってくる事が出来ました。また、安定稼働後は、サポート部門として売上や質を上げるため、医療介護連携室が中心となり、LIFEの導入をサポート、徐々に算定加算を増やしていくことで、日当点向上に繋いでおります。

しおさいの長期、短期入所は地域にはなくてはならないサービスであると使命感を持っております。今後も、しおさいが地域に必要とされる施設であり医療介護連携室がすべての中間軸（ハブ）である役割として今回、コロナクラスター脱却に大きく貢献した與後主任を理事長賞に推薦させていただきます。